

県内米軍基地からの相次ぐPFOS等の流出
に関する緊急要請

令和4年10月3日

神奈川県基地関係県市連絡協議会

外務大臣 林 芳正 殿

防衛大臣 浜田 靖一 殿

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治

副会長 横浜市長 山中 竹春

副会長 相模原市長 本村 賢太郎

藤沢市長 鈴木 恒夫

逗子市長 桐ヶ谷 寛

大和市長 大木 哲

海老名市長 内野 優

座間市長 佐藤 弥斗

綾瀬市長 古塩 政由

本年6月に判明した横須賀基地内の排水処理施設から PFOS 等を含む排水が流出した事案について、9月30日、国から情報提供があり、8月29日に米軍が採取した排水から、国が定める暫定目標値の170倍以上の有機フッ素化合物（PFOS等）が検出されたことが明らかになりました。

また、9月24日には、厚木基地からのPFOS等を含む泡消火薬剤の流出も発生しています。

相次ぐ米軍基地からのPFOS等の流出は、重大な問題であり、極めて遺憾です。ついては、基地周辺住民の安全・安心を確保するため、以下の項目を早急に実施することを求めます。

- 1 横須賀基地のPFOS等流出について、早急に原因究明を行い、汚染物質の徹底的な除去や施設の改修など抜本的な対策を講じること。また、抜本的な対策が実現するまでの間も、可能な限りの対策を早急に講じること。
- 2 厚木基地のPFOS等流出について、流出量などの詳細を早急に公表するとともに、更なる流出が生じないように、万全の対策を講じること。
- 3 現在、自治体が国に対して求めている環境補足協定に基づく立入調査について、早急に実現すること。
- 4 厚木基地をはじめ、PFOS等を含む製品の代替品への交換が終わっていない基地については、早急に代替品への交換を完了すること。また、交換までの間は、漏出防止など安全対策に万全を期すこと。
- 5 PFOS等を含む製品の代替品への交換が終わっている基地を含め、早急に使用・保管状況等を精査し、その結果を公表するとともに、PFOS等が残留している可能性がある場所があれば、土壌や水質の調査を行うこと。
- 6 日米両国政府が協力して、基地内外のPFOS等の継続的な監視体制を構築し、定期的に行う検査結果について情報を公表すること。